



浜銀総研 News Release



平成 27 年 12 月 2 日

「浜銀総研ビジネスウーマン・アワード 2015」受賞者について

株式会社浜銀総合研究所(代表取締役社長 伊東眞幸、横浜市西区みなとみらい3丁目1番1号)は、神奈川の優れた女性経営者を対象とした「浜銀総研ビジネスウーマン・アワード 2015」の受賞者を、下記のとおり決定いたしました。

記

- 大 賞 星野妃世子(株式会社スタックス 代表取締役)
- 優秀賞 秋本りつ子(ニッパ株式会社 代表取締役)
- 優秀賞 荒井佳代子(株式会社旅コレクション 代表取締役)
- 特別賞 渡辺順子(株式会社VM 代表取締役)

以 上

【本件についてのお問い合わせ先】
(アワードの内容に関して)
株式会社 浜銀総合研究所
総務部 村松
電話 045-225-2374
(本プレスリリースに関して)
企画部 高野
電話 045-225-2374

受賞者概要

大 賞 星野妃世子(ほしの・きよこ)

～ 確かな技術力と高い信頼により、最先端の「ものづくり」を支える
株式会社スタックス代表取締役 (川崎市中原区)

【授賞理由】

1978年入社、1985年より経営にかかわり、自ら先頭に立った営業活動や経営再建による企業体質の強化等、傑出したマネジメントとリーダーシップにより、幾多の苦境を乗り越えてきた。

他社が嫌がる面倒で難しい仕事を積極的に引き受ける受注スタンスのもと、確かな技術力と緻密な生産管理により、電子機器や宇宙ビジネス分野など、わが国の最先端の「ものづくり」を支えてきた。

「人と自然を愛し技術を探求する熱意で喜びと感動の輪を広げます」との経営理念のもと、社員教育を重視し、障害者雇用や女性登用にも意欲的に取り組むなど、ダイバーシティ経営を実践している。

株式会社スタックスは、1953年に祖父が創業し、板金加工は58年よりスタート。同社には、85年の専務就任を経て、2001年に3代目社長に就任した。ロケット搭載部品、通信機器部品、医療機器筐体等の精密板金加工、アルミ板溶接加工分野で高い技術力を持つ。他社が嫌がる面倒で難しい仕事を積極的に引き受ける受注スタンスにより、バブル崩壊やリーマンショックといった景気の荒波を乗り越えてきた。千葉・勝浦と新潟・十日町に生産ラインを持ち、顧客ニーズを踏まえた設備環境を整備するとともに、材料や生産工程のトレーサビリティ管理を徹底。2003年にISO14001を取得。近年では行政とのつながりを活かし、川崎市産業振興財団の協力のもと「免震台脚」を開発し、特許を取得している。苦しかったときのリストラの経験を踏まえ、社員教育を重視し、障害者雇用や女性登用にも意欲的に取り組む。ものづくり企業経営者らしい飾らない人柄で、地元の企業家団体でも要職を務めている。

【略歴】

1975年 富士短期大学経済学部税理士課程卒業後、田中貴金属工業株式会社に入社

1978年 大星工業株式会社(現株式会社スタックス)入社

1985年 同社専務取締役就任

2001年 同社代表取締役就任

日本経営士会ビジネスイノベーション2015 優秀賞

優秀賞 秋本りつ子(あきもと・りつこ)

～ 卓越したマネジメント力で業容を拡大し、障害者雇用で社会に貢献
ニッパ株式会社代表取締役(横浜市港北区)

【授賞理由】

卓越したマネジメント力により業容を拡大するとともに、早くから障害者雇用や女性の両立支援を促進し、半世紀にわたって地域社会に貢献してきた。

経営革新にも積極的に取り組み、ISO認証の取得、環境インクの採用、災害時対応の可変式ダンボール箱の開発等、多くの具体的な成果を挙げている。

1961年創業の総合容器紙製品製造業を経営。1970年代よりユーザーとの直接取引を開始し、下請けダンボールメーカーを、50名規模の総合パッケージメーカーに成長させた。卓越したマネジメント力により業容を拡大するなか、自然体での社会貢献を標榜し、早くより障害者雇用、女性の両立支援を促進。経営革新にも積極的に取り組み、ISO認証の取得、環境インクの採用、災害時対応の可変式ダンボール箱の開発等、多くの具体的な成果を挙げている。

【略歴】

神奈川県立保健福祉大学 卒業

大和証券株式会社勤務後、新羽紙業株式会社に入社

1979年 神奈川県雇用問題専門委員会副会長

障害者職業生活相談員資格認定講習会講師

1999年 神奈川県の物品調達について障害者多数雇用事業所への優先発注を働きかけ、神奈川方式を実現

厚生労働大臣表彰、神奈川県知事表彰、全国法人会総連合会表彰、よこはまグッドバランス賞、ハマライゼーショングランプリ、かながわ障害者雇用優良企業、等受賞多数

優秀賞 荒井佳代子(あらい・かよこ)

～ 高いホスピタリティと商品企画力で旅の感動を創造
株式会社旅コレクション代表取締役(横浜市中区)

【授賞理由】

競争が激しく経済環境の影響も受けやすい旅行業界の中で、30年にわたる業歴を持ち、顧客へのホスピタリティを高めることで、8割という高リピート率を実現している。

IT化に伴う低価格競争に対抗し、職場旅行による社員の共通体験創造を法人向けに提案するなど、商品企画に力を入れることで他社との差別化を図っている。

1984年茅ヶ崎で旅行業を開始。競争が激しく経済環境の影響も受けやすい旅行業界の中で、30年におよぶ業歴を誇る。女性中心の職場の中で、人材育成を重視し、顧客へのホスピタリティを高めることで、8割という高リピート率を実現。IT化に伴う価格競争に対抗するため、商品企画に力を入れ、法人向けでは職場旅行による社員の共通体験創造を提案。個人向け海外旅行では、現地在住日本人ガイドを活用した女性の一人旅支援などで特色を出している。

【略歴】

1984年 卒業旅行で知り合った女性が旅行会社を起業したことから旅行業に関心が高まり 茅ヶ崎市にて会社設立

2010年 現在の「株式会社旅コレクション」に社名変更

2015年 法政大学大学院終了

神奈川経営研究会会長に就任

JHMA認定ホスピタリティ・コーディネータ

特別賞 渡辺順子(わたなべ・じゅんこ)

～ 「あったらいいな」を実現し、地域の子育て層から高い支持を獲得
株式会社VM代表取締役(横浜市青葉区)

【授賞理由】

1999 年にファミリー向け季刊誌ビタミンママを創刊し、以後、横浜北部、川崎北部の8区を対象に子育てに関わる地域情報を幅広く発信することで、同地域の子育て層から高い支持を得ている。

ものづくり補助金を活用し、介護・医療分野に関する新しい雑誌を 2016 年発刊予定であり、社会貢献性の高い事業分野で、今後さらなる飛躍が期待される。

1999 年ファミリー向け地域情報誌ビタミンママを創刊。出版社での編集経験のみに頼った徒手空拳の起業ではあったが、「あったらいいな」を形にするコンセプトが時代のニーズに合致し、現在ではフリーペーパー、マーケティングリサーチ、イベント開催等、事業領域を拡大。女性目線、母親目線に地域的視点を取り込んでいる点が特色。ものづくり補助金を活用し、介護・医療分野に関する新しい雑誌を 2016 年発刊予定。

【略歴】

大学卒業後、出版社に入社。結婚、出産後退社したが、仕事への情熱を捨てきれず、1999 年個人事業主として「ビタミンママ」を起業。2003 年法人化。

横浜市中期経済ビジョン策定委員、川崎市産業観光振興協議会委員、横浜市社会教育委員、横浜図書館指定管理者審議員、内閣府ビジネスプランコンテスト審査員、公益財団法人横浜企業経営支援財団メンター、など公的な役職歴多数。

受賞歴として、よこはまグッドバランス賞(4回)、2013年横浜市有望ビジネスプラン採択、など。

以上